第2期
那珂川市

まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン
総合戦略
概要版

令和2年3月

第2期那珂川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略とは

策定の趣旨

全国的に人口減少社会の到来、東京への一極集中などが問題とされる中、わが国においては、平成27（2015）年度を初年度とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組により、活力ある日本社会の維持、地方からの日本の創生を目指した戦略を推進しています。

那珂川市においても、国の示す「地方創生」の実現に向け、「那珂川町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」（以下、「第1期総合戦略」という。）を平成28（2016）年3月に策定し、地方創生に資する各種施策を推進してきました。

本年度（令和元（2019）年）は、第1期総合戦略の計画期間の最終年度となることから、地方創生の更なる深化、将来の社会的変化を見据えた、那珂川市の事業展開を図るため、第2期那珂川市まち・ひと・しごと創生ー人口ビジョン・総合戦略（以下、「第2期総合戦略」という。）を策定するものです。

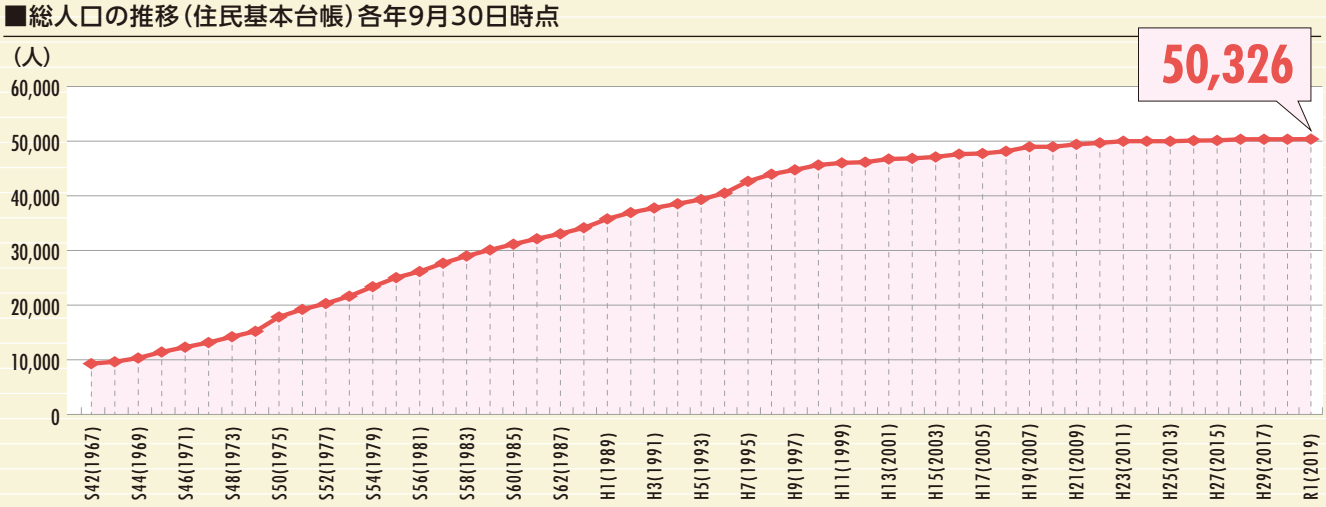
戦略の期間

第2期総合戦略の期間は、令和2（2020）年度～令和6（2024）年度までの5年間とします。なお、社会環境の変化、施策の進捗など状況変化があった場合は、必要に応じて見直すものとします。

那珂川市の人口の現状

那珂川市の総人口は増加基調にありますが、近年は人口増加が鈍化しています。

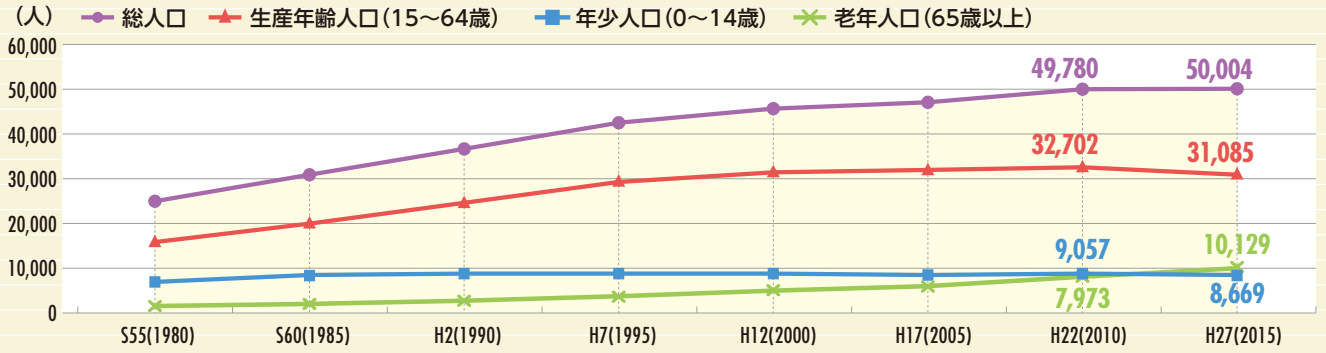
■総人口の推移（住民基本台帳）各年9月30日時点



【資料】住民基本台帳

生産年齢人口が減少に転じる一方、老年人口が増加し、高齢化が進んでいます。

■年齢３区分別人口数の推移



那珂川市の人口の将来展望

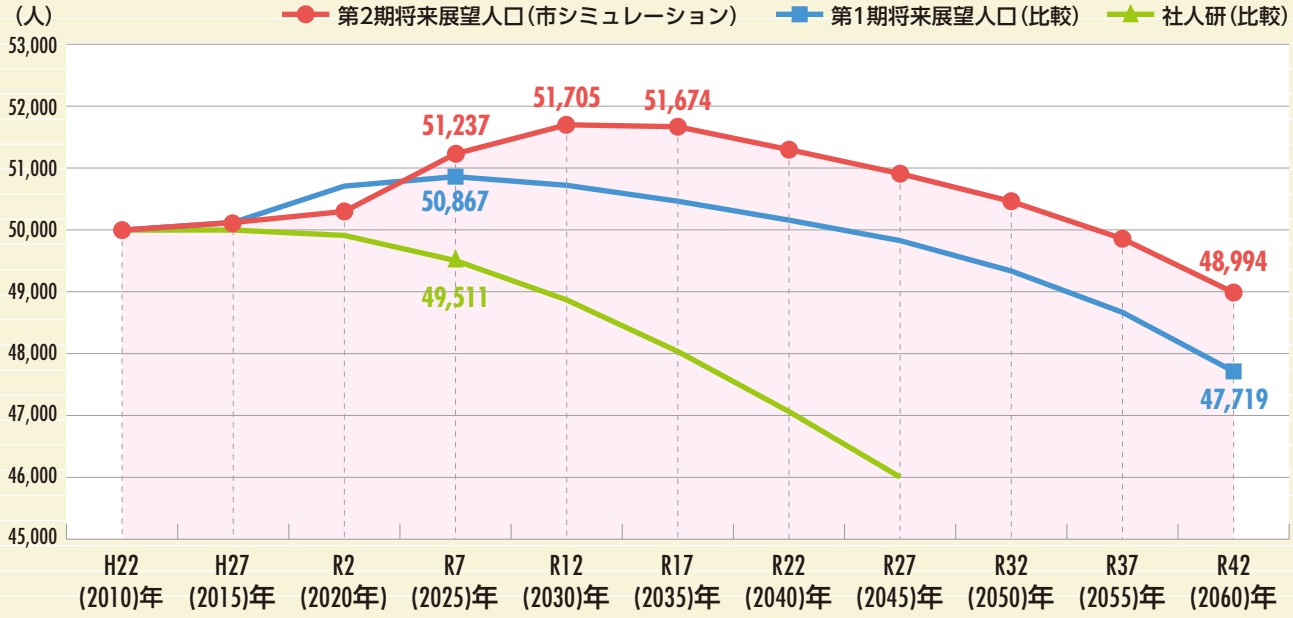
満足度の高い子育て支援の環境づくりと都市開発による都市圏からの若年層・若年世帯の移住を促進することで、合計特殊出生率2.07を目指し、中長期的な人口の展望として、令和12（2030）年には51,705人、令和42（2060）年には48,994人の人口規模を設定します。

【第2期将来展望人口】

令和12（2030）年　51,705人

令和42（2060）年　48,994人

【第2期将来展望人口の推移（社人研推計人口及び第1期将来展望人口との比較）】



将来人口に向けた課題と展望

- ●子育て世代の更なる人口増加による社会増・自然増の維持・向上
- ●市街地と中山間部の人口構造の2極化に対応した地域づくりの推進
- ●市内での仕事の創出による職住近接の推進

第2期総合戦略具体的施策　【施策体系図】

人口ビジョン	総　　合	
人口の将来展望	基本目標	主　な
2030年に 51,705人 （ピーク人口） 2060年に 48,994人 ※2025年までに出生率1.8、2035年に2.07に上昇する仮定	1.稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする ■就労機会の創出と多様化	起業サポートと交流の場を提供する
		農業に関する新たな働く場の創出、働く場の拡大と安定、U・I・Jターン移住者の誘導による就農促進
		林業サイクルの確立と山林資源活用による里地・里山の景観形成を強化する
	2.地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる ■豊かな自然環境・田園環境を活用した新しい人の流れの創造 ■中山間地域の振興	都市圏からの新しい人の流れをつくり地域資源を活かした観光を開発する
		地域資源を活かした「農あるくらし」の拠点形成、市外からの交流の促進
		移住・定住の環境づくりを強化する
	3.結婚・出産・子育ての希望をかなえる ■子育て世帯にもやさしい様々なサービスの支援	都市圏からの若年層・若年世帯の移住を促進する
	4.ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる ■まちの魅力がわかりやすい骨格・戦略的小拠点の形成	市街地・住宅地のブランディングを行う
		新たな提案制度の構築と協働コーディネーション体制の整備

戦　　略		
施　　策	KPI（重要業績評価指標）	SDGs
●「創業塾」の開催	●創業者数：（H30実績：13人）0人⇒**累計50人** ●創業塾の受講者数：（H30累計：90人）0人 ⇒**累計75人**	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
●所有権の移転、利用権の設定による農地集積 ●新規就農、就農希望者を確保するための企画実施	●新たな認定新規就農者：（H30累計：7人）0人⇒**累計5人** ●認定農業者・認定新規就農者への農地の集積率：16.1%⇒**18.0%** ●那珂川市の特産品の販路拡大（特産品の取り扱い店舗数）：（H30実績：10店舗）0店舗 ⇒**5店舗**	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 15 陸の豊かさも守ろう
●基本方針に基づく林業サイクルの確立 ●市産材の利用促進	●森林組合出荷量：2,917㎥／年 ⇒**3,000㎥／年** ●市産材を利用した事業件数： （H30累計：16件）0件 ⇒**累計13件**	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
●観光に関する基本方針策定	●休日滞在人口：33,806人／年 ⇒**36,398人／年**	8 働きがいも経済成長も 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
●満足度の高い農業体験農園などの開設を検討	●農業体験プログラムの実施件数：0件 ⇒**1件**	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
●移住促進に関するイベントなどの実施	●移住促進イベントなどへの参加者数：（H30累計：367人）0人⇒**累計400人** ●移住促進事業による南畑地区への移住世帯数：（H30累計：11世帯）0世帯⇒**累計15世帯**	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
●子育て支援に関するネットワーク作り	●待機児童数：63人（平成31年4月1日） ⇒**0人（令和6年4月1日）** ●「子育てしやすい市」だと思う小学生以下の保護者の割合：85.9%⇒**90.0%**	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
●建替やリノベーションなどによる市街地・住宅地や緑化による良好な都市景観形成の促進	●既存宅地再編誘導件数：0件⇒**累計2件**	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
●地域課題の解決に協働で取り組むための事業企画提案を行う制度の見直し ●多様な主体をつなぐコーディネーションの役割を担うために必要な体制の整備	●まちの底力応援補助金交付後も継続して活動している団体数：（H30累計：11団体）0団体⇒**累計1団体**	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう

基本目標1

稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

【就労機会の創出と多様化】

起業サポートと交流の場を提供する

・商工会や金融機関などと連携し、起業・創業希望者のための創業塾を引き続き開催するほか、創業者の幅広い交流機会やフォローアップの充実を図ります。
・市内の企業と起業家との交流機会をつくることで、地場産業のイノベーションを活性化させます。
・福岡市や東京等の大都市圏から市内への「ひと」や「しごと」の流れを促すため、Society5.0の到来を見据えた、成長の可能性が期待できるICT企業等のサテライトオフィスの誘致を検討します。

主な事業
●創業塾の開催　●博多南駅前ビルを活かした創業機会の拡大
●地場産業のイノベーション支援

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
創業者数（人）	13人	0人	累計50人
創業塾の受講者数（人）	累計90人	0人	累計75人

農業に関する新たな働く場の創出、働く場の拡大と安定、U·I·Jターン移住者の誘導による就農促進

・新規就農者や就農希望者の育成・確保・定着を図るとともに、農地集積に取り組みます。
・農業の生産性を高めるため、付加価値の高い産品の開発・販売を拡大するとともに、農業委員会の意見を踏まえ、Society5.0の到来を見据えた成長戦略を調査・研究します。

主な事業
●所有権の移転、利用権の設定などによる農地集積　●農福連携の推進
●新規就農、就農希望者確保の企画実施　●特産品のPR・販路拡大

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
新たな認定新規就農者（人）	累計7人	0人	累計5人
認定農業者・認定新規就農者への農地の集積率（%）	16.1%	16.1%	18.0%
那珂川市の特産品の販路拡大（特産品の取り扱い店舗数）（店舗）	10店舗	0店舗	5店舗

林業サイクルの確立と山林資源活用による里地・里山の景観形成を強化する

・公共施設における木材使用や切り捨て間伐材の利用を促進し、林業分野への就業を推進する林業サイクルを確立します。

主な事業
●林業サイクルの確立　●市産材の利用促進

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
森林組合出荷量（㎥／年）	2,917㎥／年	2,917㎥／年	3,000㎥／年
市産材を利用した事業件数（件）	累計16件	0件	累計13件

基本目標2

地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

【豊かな自然環境・田園環境を活用した新しい人の流れの創造】【中山間地域の振興】

都市圏からの新しい人の流れをつくり 地域資源を活かした観光を開発する

・観光による休日滞在人口の拡大のため、グリーンピアなかがわを含む五ケ山クロスを起点に自然などの地域資源を活かしたアウトドアツーリズムを推進し、観光客の滞在時間の延伸と観光消費の拡大を目指した観光産業の振興を図ります。
・自然資源を活かした観光の拡大により、都市圏から那珂川市を訪れるリピーターを増やし、地域と来訪者とのつながりを深めることで、関係人口となる那珂川ファンを拡大します。
・Society5.0の到来を見据え、最新技術を活用した観光資源の付加価値向上、情報発信機能の強化を検討します。

主な事業
●観光情報の発信　●体験テーマ型ツーリズムの実施
●五ケ山クロスを核とした宿泊滞在型観光の推進

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
休日滞在人口の増加（人／年）	33,806人／年	33,806人／年	36,398人／年

地域資源を活かした「農あるくらし」の拠点形成、市外からの交流の促進

・農業体験などの定期的な交流活動を通じて、市外者とのつながりを深め、「関係人口」を増やすことで、市外からの新たなひとの流れをつくります。

主な事業
●農業体験を通じた定期的な市外者との交流活動の開催

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
農業体験プログラムの実施件数（件）	0件	0件	1件

移住・定住の環境づくりを強化する

・南畑地区を中心とした中山間地域への移住・定住を増加させるため、首都圏や福岡都市圏をターゲットとした情報発信と交流イベントを進めるとともに、移住交流促進センターが関係人口案内人となり、農業体験活動などの定期的な交流機会を充実し、移住・定住へのきっかけとなる関係人口を増やします。

主な事業
●移住・定住イベントの実施　●移住交流促進センターによる移住促進活動の強化
●移住希望者との関係人口づくり

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
移住促進イベントなどへの参加者数（人）	累計367人	0人	累計400人
移住促進事業による南畑地区への移住世帯数（世帯）	累計11世帯	0世帯	累計15世帯

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【子育て世帯にもやさしい様々なサービスの支援】

都市圏からの若年層・若年世帯の移住を促進する

・妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援により、若い世代が安心して産み・育てることができる子育て支援環境を実現するとともに、子育て支援が必要な世帯へ届く情報発信を行います。
・女性が働きながら子育てのできる環境づくりを推進するため、ワークライフバランスや女性の活躍推進に取り組む地元企業と連携し、女性の多様な働き方を支援します。

主な事業
●切れ目のない子育て支援の充実　●子育て世帯に届く情報発信
●ワークライフバランスの推進

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
待機児童数（4月1日現在）（人）	63人（※）	63人	0人
「子育てしやすい市」だと思う小学生以下の保護者の割合（%）	85.9%	85.9%	90.0%

※平成31年4月1日時点

基本目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【まちの魅力がわかりやすい骨格・戦略的小拠点の形成】

市街地・住宅地のブランディングを行う

・新市街地整備地区を含め、自然と共生する都市空間を形成し、住みたい・住み続けたいまちの魅力を確立し、市外からの人の流れをつくります。
・博多駅からのアクセス環境の強みを活かすため、市内の公共交通とのネットワークを強化し、JR博多南駅からの利便性を高めるとともに、Society5.0による未来技術を導入した公共交通環境を見据えた取組を検討します。

主な事業
●建築協定・まちなみガイドラインなど策定　●拠点間の交通ネットワークの強化
●建替やリノベーションなどによる市街地・住宅地や緑化による良好な都市景観形成の促進

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
既存宅地再編誘導件数（件）	0件	0件	累計2件

新たな提案制度の構築と協働コーディネーション体制の整備

・市民・団体・行政など、多様な主体が協働しながら地域課題を解決するために、協働コーディネーションの役割を担う人材・体制の整備や市民や団体の企画提案に対する支援策を検討します。
・高齢者や女性などすべての市民が働きがい、生きがいをもった暮らしが送れるよう、柔軟で多様な働き方のできる機会を広げます。

主な事業
●多様な主体をつなぐコーディネーションの役割を担うために必要な体制の整備
●提案型まちづくり事業補助金の見直し　●多様な働き方の支援

KPI（重点業績評価指標）	実績値（H27～H30）	基準値（R2）	目標値（R2～R6）
まちの底力応援補助金交付後も継続して活動している団体数（団体）	累計11団体	0団体	累計1団体

発　　行：令和2年3月
編　　集：那珂川市　総務部　経営企画課　〒811-1292　福岡県那珂川市西隈1丁目1番1号　Tel　092-953-2211　Fax　092-953-0688
デザイン・印刷：株式会社シーズ総合政策研究所